

ホッキョクグマの聖地・スピッツベルゲン探検クルーズ 12日間

北緯75～80度付近の高緯度北極圏に位置するスヴァールバル諸島最大の島、スピッツベルゲン島を訪れます。真夜中でも高い位置に太陽が輝く白夜の世界で、たくさんの野生動物が活動し、雪解けの川の流れや滝、ツンドラの大地で芽吹く小さな植物。まさに大自然の宝庫です。人間の住んでいない地域を訪れるためホッキョクグマとの出会いも期待できるでしょう。大自然を歩き、野生動物たちとの出会いも楽しむことができるスピッツベルゲン探検クルーズにぜひご参加ください。

発着地 東京

催行決定

出発日～帰国日
2026年 6 / 10(水)～ 6 / 21(日)

残席わずか

●旅行代金

カテゴリー	客室のタイプ	階	旅行代金
バルコニー ステート C	バルコニー、ツインベッド、 シャワー、トイレ付 (20.9～24.8㎡)	6	¥3,360,000 2名様で利用する場合
			¥4,460,000 1名様で1部屋を利用する場合

※お一人様参加で相部屋希望の場合はお問い合わせください。

- 燃油サーチャージ(2025年8月10日現在:目安約48,000円)が別途必要です。今後、変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 8人 ●食事: 朝9回、昼5回、夕9回
- 利用探検船: グレグモーター (8,500トン) / オーロラエクスペディション
- 利用予定ホテルリスト: オスロ/ラディソンブルーエアポート、オスロガーデンモエン
- 一人部屋追加料金: ¥32,000 (クルーズ船宿泊以外のオスロ部分)
- 利用予定航空会社: 全日空、スカンジナビア航空、ルフトハンザドイツ航空

※詳細については、パンフレットをご請求ください。



▲ゾディアックボートで上陸する

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ヨーロッパ都市 経由	午前 ➡ 東京を飛び立ち、空路ヨーロッパ内都市で乗り継ぎ ➡ オスロへ。 【機中泊】
2	オスロ 着	午前、オスロ着。空港近くのホテルへ。 【機中泊】 【オスロ泊 ④】
3	オスロ 発 ロングイカービーエン着/発	チャーター便で ➡ ロングイェールピンへ。着後、ロングイカービーエン散策。夕刻、乗船後 ➡ スピッツベルゲン島探検クルーズへ出港。 【機中泊】 【船中泊】
4 ～ 8	スピッツベルゲン島 探検クルーズ	上陸してハイキングやゾディアックボートで氷河の近くを航行、または野生動物の観察などスピッツベルゲン島の魅力に迫ります。1日2回の船外活動を予定しています。 【朝5 昼5 夕5】 【船中5泊】
9	ロングイカービーエン着/発 オスロ 着	朝食後、午前中に下船。再集合時間まで町の散策をお楽しみください。午後、チャーター便で ➡ オスロへ。夕刻、オスロ到着後、団体バス ➡ オスロ中心部のホテルへ。 【朝④ 夕④】 【オスロ泊 ④】
10	オスロ 滞在	オスロ市内観光をお楽しみください。 【朝④ 夕④】 【オスロ泊 ④】
11	オスロ 発 ヨーロッパ都市 経由	団体バスで ➡ 空港へ向かいます。午前 ➡ オスロを出発しヨーロッパ都市を経由して ➡ 東京へ。 【朝④ 機中④】 【機中泊】
12	東京 着	午前、東京着。 【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

北極クルーズは運航会社の綿密な計画によって実施されますが、皆様が実際に体験される内容を出発前に明確にお伝えするのはとても困難です。毎日の気象条件と氷の状態を考慮して最適なルートを進むため、予定していた上陸場所が変更となることもあります。運航会社は皆様の旅が思い出深いものになるよう最大限の努力をしますが、日程や航路図はあくまでも目安としてください。また、記載の野生動物についても、すべてをご覧いただけることをお約束するものではないことをご了承ください。

スピッツベルゲンの訪問地（一例）

●ロングイカービーエン

スヴァールバル諸島の玄関口で、かつて炭鉱の町として栄えていました。人口1,000人以上の町では世界最北で、現在では観光、学校、研究、郵便局、スーパーマーケット、博物館などがあり地方行政府として成り立っています。高緯度の北極圏にあり、1年の大部分が白夜か極夜となっています。

●スミーレンブルグ

スヴァールバル諸島北西部に位置し、かつての捕鯨集落でしたが1660年頃に放棄されました。当時の集落跡を見ることが出来ます。ツンドラハイキングや野生動物もよく観察することができます。

●アルケフィエツレ

スピッツベルゲン島北東部に位置する断崖で、崖に営巣するハシブトウミガラスは約6万組と言われています。ゾディアックボートで見学し、上空で巣と海を行き来する膨大な親鳥は圧巻です。

●モナコ氷河

スピッツベルゲン島北西部、リーフデフィヨルドの奥に位置する美しい氷河です。数千羽のミツユビカモメやホッキョクグマに出会えるチャンスです。

●ホルンスン

南スピッツベルゲン国立公園の一部で、スピッツベルゲン島の西側に位置するフィヨルドです。多くの探検スポットがあり、上陸してのハイキングで素晴らしい風景をお楽しみいただけます。

●アルクホーネット

スピッツベルゲン島の西海岸に位置し、重要鳥類生息地とされています。ツンドラハイキングでは小さな花々やスヴァールバルトナカイ、1万組の多様な海鳥をご覧いただけることでしょう。